

## 平成27年度第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成27年12月24日(木)午後2時30分～4時

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者 (1) 委員：鈴木吉久委員長、関和久副委員長、内本美鈴委員、  
飯田博委員、堀内裕子委員、高島尚子委員、  
引田満委員、堀江夏子委員

(2) 事務局：皆川征夫教育長、小島邦夫学校教育課長、  
仲田政樹給食管理室長、後野真弥主査

欠席者 横井隆子委員、浅海靖弘委員

傍聴者 なし

1 委嘱状の交付(任期：平成27年10月1日～平成29年9月30日)

2 教育長あいさつ

3 委員長・副委員長の選任

推薦により、委員長に鈴木委員、副委員長に関委員が決定

4 議題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を堀内裕子委員、高島尚子委員を指名(名簿順)

(1) 平成27年度学校給食センターの運営について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

関副委員長：残食は何が多いのか。

事務局：和え物や、野菜の炒め物、汁物の野菜が多い。

関副委員長：配缶量は、食べるクラスと食べないクラスは同じか。

事務局：同じである。栄養価を考えて作っており、1人分の分量が決まっている。

内本委員：給食で牛乳が飲めない場合、代替えの飲み物を出しているのか。

事務局：代替えは出していない。牛乳の代金を1か月単位で返金している。

(2) 平成27年度第2四半期PFI事業モニタリングについて  
事務局より資料に沿って説明

＜質疑等＞質疑無し

(3) その他について

事務局より資料に沿って説明

＜質疑等＞

引田委員 : その他の②「アレルギー除去食第2段階の進め方について」であるが、小麦アレルギーは重篤であることが多く、除去食が求められるが、第3段階なのはなぜか。

事務局 : 小麦を使用している食材が多いため、除去するのが難しいためである。

高島委員 : アレルギー除去食の第2段階の「えび・かに・落花生」の除去で、えび入りのあんかけ焼きそばの場合、あんかけを除去すると、麺しかないことになる。その場合、麺だけでは食べられない。

事務局 : えび入りあんかけ焼きそばの場合、えびを除去したあんかけをアレルギー専用調理室で調理して提供する。センター内で食材から調理するものについては、アレルゲンを除去したものを提供することができる。

引田委員 : 現在は「卵・乳」の除去食1種類だが、「卵」だけ、「乳」だけの除去食を作るのが難しいのか。

事務局 : 除去食の種類を増やす場合、食物アレルギー食を専門とした市栄養士が必要と考える。現状の体制では難しい。

引田委員 : 口腔アレルギーが右肩上がりが増えている現状がある。その原因となる「いくら」や「キウイ」のアレルギーの児童生徒が多い。「いくら」と「キウイ」の除去は、保育園では始まっている。千葉市では、学校給食で出さないと決めている。

事務局 : 課題としては認識している。当市の場合、食物アレルギー食の対応が始まったばかりで、段階として、千葉市のレベルまで進んでいない。次のステップと考えている。

鈴木委員長 : 食物アレルギー対応について、子どものためになるので、会議以外でも、気づいたことは学校給食センターに連絡をお願いしたい。

5 閉 会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成28年 2月 2日

署名人 堀内 裕子

署名人 高畠 尚子